

学校経営推進費 評価報告書（1年め）

1. 事業計画の概要

学校名	大阪府立牧野高等学校 全日制の課程
取り組む課題	生徒の学力の充実
評価指標	<ul style="list-style-type: none"> ・学校教育自己診断における生徒の授業満足度指標「牧野高校の授業はわかりやすい」の向上 ・国公立大学への現役進学者数の増加
計画名	Class Reform Project of Makino's Action Plan for Paradigm Shift 2020 (CRPMAPPS2020) (「牧野高校令和2年大転換計画」のひとつとして実施する「授業改善プロジェクト」)

2. 事業目標及び本年度の取組み

学校経営計画の 中期的目標	1. 「確かな学力」の育成と授業改善 (1) 次期学習指導要領を踏まえるとともに高大接続システム改革を見越し、大阪府教育振興基本計画の下、「確かな学力」の育成とそのための授業改善を進める。
事業目標	<ul style="list-style-type: none"> ① 全教員による継続的な授業改善と相互連携で、学校教育自己診断における「牧野高校の授業はわかりやすい」への生徒の肯定的回答を令和2年度までに80%以上にする。(平成29年度69%) ② 「主体的・対話的で深い学び」の実現のために、ICT 機器やネットワーク環境を充実させて、令和2年度までに80%以上の教員がICTを活用した授業を展開できるようにする。(平成29年度59%) ③ 入学時の学力を維持、向上させるために、生徒に「学ぶ楽しさ」を実感させ、学校教育自己診断における「授業の予習、復習はできている」への肯定的回答を、令和2年度には80%以上にする。(平成29年度45%) ④ 国公立大学への現役進学者を令和2年度までに卒業見込み者の10%以上にする。(平成29年度6%)
整備した 設備・物品 (数量)	<ul style="list-style-type: none"> ① 電子黒板機能付き超短焦点プロジェクター18台を、第1学年9クラス、第2学年9クラス、計18クラスの教室に設置し、担当する全ての教員が、普通教室でICT機器を利用した授業を展開できるようにする。 ② 電子黒板機能により、新大学入試制度を意識した生徒の思考・判断・表現力強化や、英語4技能強化を実現する。 ③ 第3学年10クラスと少人数展開用3教室の合計13教室については、当面、既存の移動式プロジェクターを占有して使用できるようにし、希望の進路実現に効果を上げるとともに、本プロジェクトの実施結果を検証し、速やかに、電子黒板機能付き超短焦点プロジェクターを設置する方策を検討して行く。
取組みの 主担・実施者	MAPPS2020 全体プロジェクト・リーダーを任命した首席を主担とする。また、本校が平成29年度に参加した「育成支援チーム」事業の中で形成されたミドルリーダー候補者のうち、主に授業改善に関する研究を担当する6名の中堅・若手教諭を中心に、 CRPMAPPS2020 のメンバーに任命した。(この6名は都立高校等への出張、調査研究、発表を行った。)

<p>本年度の 取組内容</p>	<ul style="list-style-type: none"> 本年度 10 月に、平成 30 年度学校経営推進費により 18 の普通教室に電子黒板機能付き超短焦点プロジェクターを設置した。また、これを契機に P T A からの寄付を受けて 10 の普通教室と 4 つの理科講義室にも同じ機材を設置することができた。この結果、全 32 教室にプロジェクター設備が導入された。 7 月に本校教員 7 名で校内に発足させた「授業力強化, ICT 環境充実」プロジェクトチームが、他校の活用事例の調査研究を行った。全教員に電子黒板機能の活用方法について校内で複数回研修を行った。 これらの結果、学校教育自己診断において、前年度 (59%) 比で 21 ポイント増の 80% の教員が、「ICT を活用した授業を実施した」と回答し、前年度 (54%) 比 27 ポイント増の 81% の生徒が、「ICT を活用した授業が多い」と回答した。 授業見学において、教科を問わず多くの教員がそれぞれ工夫をしながら使用していることが確認できる。 学校教育自己診断において「牧野高校の授業はわかりやすい」への生徒の肯定的回答が、前年度 (69%) 比 7 ポイント増の 76% となった。
<p>成果の検証方法 と評価指標</p>	<ol style="list-style-type: none"> ① 学校教育自己診断における「牧野高校の授業はわかりやすい」への生徒の肯定的回答を 72% 以上にする。 ② 65% 以上の教員が ICT を活用した授業を実施できるようにする。 ③ 学校教育自己診断における「授業の予習、復習はできている」への肯定的回答を 50% 以上にする。 ④ 国公立大学への現役進学者を卒業見込み者の 6% (24 名/400 名) 以上にする。
<p>自己評価</p>	<ol style="list-style-type: none"> ① 学校教育自己診断における「牧野高校の授業はわかりやすい」への生徒の肯定的回答は 76% となり、設定した目標に対しては 4 ポイント上回り、2 年めの目標数値 75% に対しても 1 ポイント上回る結果となった。…………… (◎) ② 学校教育自己診断における「ICT 機器やネットワークを活用した授業を行っている」への教員の肯定的回答は 80% となり、設定した目標に対しては 15 ポイント上回り、2 年めの目標数値 75% に対しても 5 ポイント上回って、3 年めの目標 80% を達成する結果となった。…………… (◎) ③ 学校教育自己診断における「授業の予習、復習はできている」への生徒の肯定的回答は 47% で、前年度比 2 ポイントの改善にとどまった。…………… (△) ④ 国公立大学への現役進学者は卒業見込み者の 4.8% (19 名/395 名) となった。一方で、浪人を合わせた国公立大学への進学者は、昨年度比 5 名増え、過去最高の人数となる 30 名となった。…………… (△)
<p>次年度に向けて</p>	<p>学校経営推進費による電子黒板機能付き超短焦点プロジェクターは、第 1 学年 9 クラス、第 2 学年 9 クラス、計 18 クラスの教室に設置できたことに加えて、これを契機に PTA からの寄付で、第 3 学年 10 クラスの普通教室と 4 つの理科講義室の全部で 32 の教室にも設置できた。一方で、設置時期が 10 月下旬になり、各学年、特に第 3 学年では、その恩恵に浴する期間が 2 ～ 3 ヶ月に留まったのが残念だった。</p> <p>第 3 学年の国公立大学への現役進学者は 19 名と前年度 (23 名) をやや下回ったものの、浪人を含めた国公立大学進学者 (30 名) は、過去最高の数になった。また、国公立型で大学入試センター試験を受ける生徒は、昨年度比 1.5 倍、一昨年度比 2 倍超の 122 名に増えており、国公立大学をめざして勉強する意識は着実に伸びていると思われる。</p> <p>予習復習の意識も、授業環境の充実とともに上がることを期待する。この点は、校長からも不断のメッセージとして意識付けさせていく。</p> <p>多くの教員が普通教室で ICT 機器を利用した授業を展開できるようになっていることは事実であり、生徒の評価も高いことから、今後へのアドバンテージを得たといえる。一層の授業改善、授業の充実を図り、設定した 4 つの評価指標に対する意識を教員に一層持たせ、所期の段階的な成果目標に達するようにしていきたい。</p>